

熊本県立高校One Teamプロジェクト事業
**菊池農業高校との竹林での伐採体験
 及び合同学習会**



図1 竹林伐採及び合同勉強会の様子

11月14日(月)に、県のOne Teamプロジェクト事業を利用して、菊池農業高校のSDGsプロジェクト班と本校自然科学部員による菊池公園の里山の侵入林伐採を実施しました。NPO法人菊池

公園歴史の森の方が里山保護を目的に活動をされている場所で、菊池農業高校のプロジェクト学習のフィールドのひとつとなっている場所です。

データサイエンスの観点を利用して、地域課題

解決を行えないかを実地研修を通して探ることも目的として実施しました。

体験後は、それぞれ研究発表を行った後、協議を実施しました。互いの学校に無い視点を学ぶ貴重な機会になりました。

理数科1年「データサイエンス」
実践プログラミング連続講座



図2 外部講師によるデータロガーの概要説明

12月に3週に渡って、データサイエンスに関する全6時間の連続講座を実施しました。講師は、統計音声処理の研究開発が専門で、株式会社

の岩木氏です。データロガーを接続したRaspberry Piからクラウドに上げた温度・湿度のデータを、1人1台端末に送信し、処理することができるようになりました。

理数教育に関わる高大社連携でのワークショップの実施 熊本北高発「共創ワークショップ」成果普及



図3 高大社の参加者によるワークショップの様子

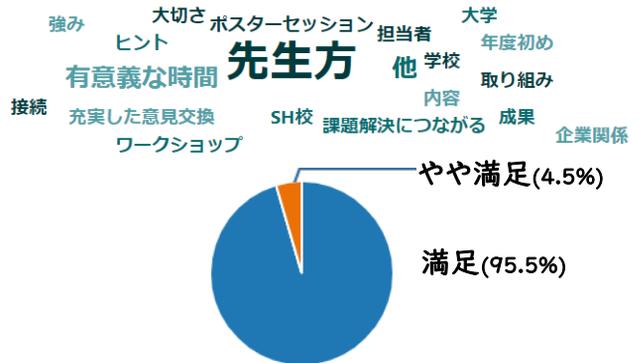


図4 参加者によるアンケート結果

11月25日(金)に実施された「熊本サイエンスコンソーシアム(KSC)担当者交流会」では、SSH校だけでなく、理数教育に関わりの深い高校や、大学・企業の方々に参加する中で、「共創ワークショップ」を実現することができました。

本ワークショップは、熊

本北高校の第Ⅲ期研究開発を実現するために行っているものですが、初めて県内関係者が集まる中で実施しました。

「KSCで育成する科学技術人材に必要な資質・能力」をテーマに、ワールドカフェの手法を用いて、オープンで自由な議論が行われました。参加者の

満足度も非常に高く(図4)、ワーク後の各校のポスターセッションでも「ワークを踏まえた議論が出来たか」という総括的評価において95.5%がポジティブな評価をしていました。

研修のノウハウは、今後も校外研修や学校HPを通して普及させたいです。

1年英語科課題研究GR I SDGsについての英語での報告会

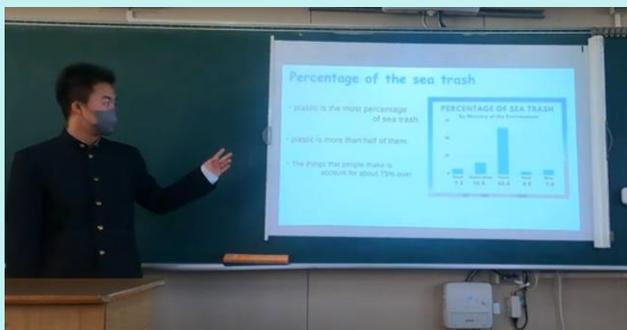


図4 GR Iにおける異文化理解講座での各班発表の様子

11月18、25日(金)に、英語科課題研究であるグローバルサーチI (GR I)の発表会を行いました。

全10班が、SDGsの17のゴールを1つずつ選び、日本における課題を調査しまとめたものです。

英語科では、日本語によるまとめを行わず、直接英語で資料づくりを行っています。英語で表現力が確実に身に付いている様子が分かりました。